

駒木会報

第17号

発行日:平成29年9月15日
発行:江戸川大学駒木会
所在:千葉県流山市駒木474
電話:04-7152-0661

平成28年度ホームカミング・デー開催!!

第10回駒木祭に合わせ、平成28年11月2・3日にホームカミング・デーを開催しました。

毎年恒例の総会・交流パーティーに加え、マス・コミュニケーション学科と人間心理学科の講演会も開催され、卒業生以外にも多くの在学生・住民の方々にご参加いただきました。

マス・コミュニケーション学科の講演会は「自治体のメディア戦略～アイデアで限界を突破する方法～」をテーマに、立正大学 客員教授の高野誠鮮氏と流山市役所 総合政策部マーケティング課の河尻和佳子氏にご講演いただきました。

高野氏は過疎の農村を復活させるため、質の良い神子原米をブランド化するために影響力の強い人に食べてもらおうとローマ法王に献上したエピソードが紹介されました。

また、河尻氏は映画「百瀬、こっちを向いて。」のロケ地協力記念で「恋届」を企画した際の行政として取り組むうえでの苦労や、行政と企画との「ギャップ」が話題となったことなどが紹介されました。



交流パーティーでのクイズ大会



高野誠鮮氏、河尻和佳子氏



國分康孝氏

人間心理学科の講演会では日本教育カウンセラー協会会長の國分康孝氏に「生き方としてのカウンセリング」と題してご講演いただきました。自らの人生経験を通じて「生き方は自分の考えを選び、自分の感情を選び、自分の

行動を選ぶこと」と語られました。

また、総会・交流パーティーでは卒業生・教職員の方々など約200名にご参加いただき、江戸川大学クイズなど大盛況の中、ホームカミング・デー終了となりました。

大学近況

●中国の華中師範大学と学術協力に関する協定を締結

平成29年4月、江戸川大学は中国・武漢の華中師範大学と学術協力に関する協定を締結しました。

それぞれが学術交流及び教育上関心を持つ分野において、以下の項目について今後交流を推進していく予定です。

- (1)教職員及び研究者の交流
- (2)学生の交流
- (3)共同研究の実施
- (4)日本語・中国語講座の実施
- (5)学術情報及び資料の交換
- (6)講義、講演及びシンポジウムの実施
- (7)その他両者が合意した事項



●『江戸川大学案内アプリ』誕生

このほど江戸川大学のスマートフォン用のアプリが誕生しました。

主に受験生向けの構成となっており、大学のWeb版パンフレットやオープンキャンパス情報、入試情報等が見られるようになっています。

iOS用

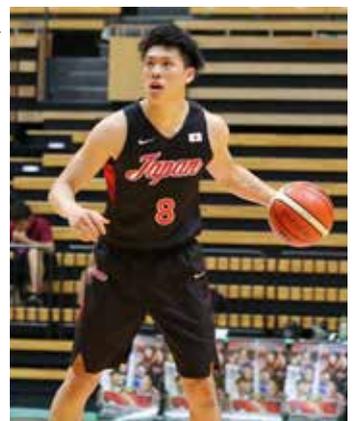


Android用



●男子バスケットボール部の保岡龍斗選手が日本代表に

男子バスケットボール部所属の経営社会学科の安岡龍斗さんが、Bリーグ1部の名門、秋田ノーザンハピネッツと平成28-29シーズンの特別指定契約を行い、さらにその後、日本代表として平成29年5月19日～21日に行われた、第40回李相伯盃日韓学生バスケットボール競技大会にも出場しました。李相伯盃では3試合に出場し、11得点を挙げ日本チームの勝利に貢献しました。保岡選手のこれからのよりいっそうの活躍に期待しております。



●女子バレーボール部 関東大学女子2部リーグ昇格

平成29年5月27日、春季関東大学バレーボールリーグ女子2部・3部入替戦が行われ、伊藤博義監督率いる3部優勝チームの江戸大は2部の武蔵丘短大と対戦し、3-1(25-17、25-17、21-25、25-20)で勝利し、2部に昇格しました。

「江戸川大学で現在取り組んでいること」

江戸川大学 学長
小口 彦太



江戸川大学の学長職を拝命して2年目になりました。この1年間を通じて、江戸川大学の特徴も随分分かってまいりました。本学は、アメリカで言えばリベラルアーツ型の大学に近いかなと思っています。この方向で、さらにきめ細かな教育を行っていく所存です。

ところで、現在はどの大学も国際化と情報化に即応した学生の学力強化を掲げております。江戸川大学も、中期目標として、この2つの課題に取り組んでいるところなんです。ただ、抽象的にこれらの課題を掲げるだけでは、何事も前に進みませんので、既存の基礎・教養教育センターを改組し、ここに専任の教員を置き、責任をもってこの2つの課題に取り組んでもらうことにしました。まず、国際化の前提として総合的な英語力を具えていなければなりません。そのため、3年

以内に全学生中3桁の学生がTOEIC600点台のスコアをとれるようにすること、また、情報化に対応すべく、過半数の学生がITパスポートの資格を取得するようにすること、この2つを具体的な数値目標として掲げ、現在その実現に向けて励んでいるところで。

英語力の強化と並んで、異文化理解としての国際化についても今年は本腰を入れて取り組むつもりです。すでに、今年4月に中国の名門大学の一つである華中師範大学と交流協定を結びましたが、できれば、もう一校、上海外語大学とも協定を結びたいと密かに考えています。それから、アメリカはきわめて重要な国ですので、オレゴン州のポートランド州立大学とも協定を結ぶつもりです。是非、駒木会の皆様のご支援を賜りたく存じます。

マイナスからの大学生活

現代社会学科
2016年3月卒業(第23期卒業生)
小澤 彩香



「良い成績で入学したからには良い成績で卒業する」これが4年間の目標だった。

高校をそこそこ優秀な成績で卒業した私は、入学式で新入生代表として登壇した。

しかし、テストの成績は抜群に良いが授業中は常に寝ているかケータイとにらめっこ、部員に振り回され人間関係にも悩まされ、イライラと不安に押し潰されそうな毎日。聞こえのいい看板だけを背負った高校生活だった。

そんなマイナスからのスタートだった大学生活は案の定軌道に乗れず、何がしたいかわからない何をやってもうまくいかない、劣等感と焦りばかりが募る日々が続いた。

本気で大学を辞めようと思っていた2年のとき、最後の思い出作りにしようと思い参加した「北海道研修」で、今まで画面でしか見たことのないような真っ赤な夕日や風にたなびく草原、多種多様な生物を育む知床のフィールドに出会った。数々の大自然を目の前に、自分はどれだけ小さな人間だったのだろうと痛感した。

最終日、帰りの空港に向かうバスの中で、友人がポツリと「時間って何で止まらないのかな。」とつぶやいた。そもそも時間って何? 楽しいって何なの? などくだらないことを馬鹿真面目に語りあううちに、今まで思いつめていたことがどうでも良くなって、このまま大学続けるのも悪くないな、と思いはじめた自分が居た。

それからというもの、分野に関わらず視野を広げていくこと、新しいものに触れることが楽しくなり、大学の講義が何倍も面白くなっていった。今まで「やらなきゃ」と思っていたことを「やりたい」「楽しい」と素直に思えるようになった。そんな私に多くの人がチャンスの手を差し伸べてくれた。

その結果、多くの活動が評価され卒業時には「千葉県知事賞」を受賞することとなった。4年ぶりの登壇、かつてプライドに縛られていた私はもう、そこには居なかったように思う。

良いことも悪いことも、4年間の全てが私の人生における大切な宝物だ。これからも楽しい気持ちと向上心を常に持ち続けられる人間でありたい。

江戸川大学三年生

社会学部人間心理学科3年
五嶋 桃香



江戸川大学に入学して3年、今年妹がこどもコミュニケーション学科に入学してきて、姉妹二人で一緒に江戸川大学の学生として生活しています。私は、心理学科の学生として今年から専門ゼミに入っています。今まで勉強したことを踏まえてより具体的に研究テーマを絞るため様々な論文を読んでいます。英語の論文を読む必要性も高いため、英語の基礎や心理学特有の英単語、論文における表現のされ方や頻出単語なども授業も含めて勉強しています。来年の卒論に向けて、自分の興味のあるテーマをとことん調べ、自分が納得し、研究としても意味のある卒論が書けるようにこれからしっかりと頑張っていきたいと思っています。

また、ヘルプデスクの一員として総括を務めているため、ヘルプデスクをよりパソコンが苦手であったり、わからなかったりする生徒に適切なサポートが出来るようスタッフ一同で邁進していきたいと思っています。今は東芝のパソコンと富士通のパソコンの大きく二種類あり、大まかな手順は変わりませんが、表示のされ方や少しのパソコンの機能などが変わっている為、どちらでも対応できるようにより勉強していきたいと思っています。さらに、パソコンの重さは年々軽くなっているのですが、2017年度入学生はDVDドライブがなく、HDDからSSDと変わっています。変更点が多いほど勉強しなければならない点があるため、ITパスポートの取得を目指し、日々勉強しています。

駒木会から最新情報を発信中

駒木会ではWebサイトや各ソーシャルメディアでの情報発信を行っています。ぜひご覧ください。

■Webサイト <http://komakikai.jp/>

駒木会からのお知らせや会報バックナンバーなどを掲載

■みんなのBLOG <http://ameblo.jp/komakikai/>

大学近況やイベント詳細情報などを掲載

■Twitter http://twitter.com/komaki_kai/

最新情報やちょっとした小ネタを発信中

■Facebook <http://www.facebook.com/EdogawaUniv.Komaki>

大学のニュースなどをピックアップしてご紹介

駒木会ではこれからも情報発信機能強化を目指して取り組んでまいりますので、ご意見・ご感想などありましたら駒木会事務局までお寄せください。

活動報告・総会報告

駒木会では2ヶ月に1回程度、理事会・評議委員会を開催したほか、下記の通り活動を行ないました。

平成28年

- 6月 平成29年度予算案の審議
- 6～10月 ホームカミング・デーについて議論
- 9月 駒木会会報を発行
- 10月 ホームカミング・デー及び総会について最終調整
当日スケジュールの確認
- 11月2・3日 ホームカミング・デー及び総会を実施
※ホームカミング・デーについて詳しくは今号1ページ目をご覧ください

平成29年

- 3月～ 駒木会報の記事、ホームカミング・デーイベント等について議論
- 3月11日 駒木会会長及び監事の任期満了に伴う役員改選を実施
- 3月15日 駒木会会長が卒業式に出席
- 3月16日 卒業記念パーティーにて駒木会PR活動を実施
- 6月～ 平成30年度予算案の審議

この他にもWebサイトやソーシャルメディアでの情報発信をしています。

第16回駒木会総会(平成28年11月3日開催)のご報告

詳細や当日配布資料についてはWebサイトの総会報告をご覧ください。

●活動報告・会計報告

ホームカミング・デーの開催、卒業記念パーティーでのPR活動の実施、駒木会報の制作、インターネットでの情報発信強化について報告しました。

●活動計画

会員同士のつながり「卒業生ネットワーク強化」をキーワードとし、卒業生の住所追跡事業、ホームカミング・デーの継続実施、情報発信機能の強化、卒業生参加の推進等の重点項目について説明を行いました。また、任期満了に伴う役員改選があるため新体制での活動方針については、会報や次年度の総会でご説明する旨をお知らせしました。

採決の結果、賛成多数で承認されました。

●予算計画

前回会報でお知らせした平成29年度予算案について、賛成多数で承認されました。

●会則改訂

会長から駒木会会則第12条(役員)及び第15条(役員の任期)を変更することを提案させていただき、賛成多数で承認されました。

提案の理由につきましては下記の通りです。

第12条、役員の数や構成が変化した場合に自由度を持たせるため。

第15条、1期あたりの任期を短くすることで役員を引き受けてもらいやすくする。

また、学園の評議委員会の任期に合わせるため。

●その他

駒木会会長及び役員の任期満了に伴い、評議委員会の議決を経た後、選挙管理委員会の委員長を委嘱したことをお知らせしました。

平成28年度 江戸川大学駒木会収支報告

平成29年3月31日

【前年度繰越金】

合計	¥ 90,900,803	
----	--------------	--

【収入の部】

校友会費(終身・5ヶ年会費)	¥ 10,111,000	終身326<継続1> 5ヶ年1<継続1>
寄付等雑収入	¥ 10,000	
利息	¥ 746	
合計	¥ 10,121,746	

【支出の部】

同窓会報および総会案内 発送費	¥ 894,931	
ホームカミング・デー開催費	¥ 868,000	
学園祭パンフレット広告費	¥ 30,000	
情報発信強化	¥ 29,623	Webサーバー利用費・ドメイン利用料
交通費・通信費・消耗品費	¥ 79,934	
合計	¥ 1,902,488	

【翌年度繰越金】

翌年度繰越金	¥ 99,120,061	【前年度繰越金】+【収入】-【支出】
--------	--------------	--------------------

平成30年度予算案

品目	金額
同窓会報および総会案内制作発送費	¥ 1,400,000
ホームカミング・デー開催費	¥ 1,550,000
学園祭パンフレット広告費	¥ 50,000
交通費・通信費・消耗品費	¥ 300,000
住所追跡事業費	¥ 500,000
情報発信強化費	¥ 500,000
合計	¥ 4,300,000

役員選挙結果及び執行部役員について

平成29年3月11日に下記の通り、任期満了に伴う駒木会役員選挙を実施しました。

受付期間内に立候補がなかったため、選挙規程第7条5に基づき、評議員会に先立って開催された理事会にて候補者の推薦を行いました。

その後、選挙規程第10条3及び第12条2に基づき、同日開催された評議員会において信任投票を実施し、全員が信任されました。

このため、執行部役員は下記の通りとなります。会則改定により今回から任期は1期2年となるため、平成29年4月1日から平成31年3月31日までとなります。

役職	氏名	卒業時期	学科
会長	関沼 洋平	第12期	マス・コミュニケーション学科
副会長	小川 誠一	第13期	マス・コミュニケーション学科
	大久保 芙美	第17期	情報化学学科
	金田 千秋	第19期	ライフデザイン学科
事務局長	大中 二郎	第3期	応用社会学科
理事	野口 英樹	第6期	応用社会学科
	淵 一憲	第11期	マス・コミュニケーション学科
	葉山 海太	第19期	ライフデザイン学科
	芝江 裕紀	第14期	マス・コミュニケーション学科
監事	宮崎 顕嗣	第7期	マス・コミュニケーション学科
	林 香織	第9期	マス・コミュニケーション学科

生涯アドレスのご利用について

江戸川大学では卒業後にも利用可能なメールアドレスとして「生涯アドレス」を配布しています。(退職された教職員の方も対象です)

生涯アドレスのご利用について、平成21年3月以降に卒業された方は在学時のID・パスワードをそのままご利用いただけます。それ以前に卒業された方はあらかじめ申請が必要です。

メールアドレスは、在学時に利用していたアドレスの一部を変更したもの(「@」の後に「g.」を追加)となります。

申請書や申請方法などについては江戸川大学Webサイトをご覧ください。

会長就任のご挨拶と今後の活動方針

駒木会会長に再任いただきました、関沼洋平です。昨年度総会で会則が改定され任期2年となりましたので、任期の2年間よろしくおねがいたします。

私事になりますが、昨年4月より地元の宮城県丸森町大内地区で住民自治組織の事務局長をしております。人口約1万4千人の町の2400人程度の地区であり、駒木会の会員数はあと少しで1万人といったところですから、あと何年かすれば私の町の人口を超えるほどの大きな組織となります。その会長として責任を感じているところです。

昨期4年間では「つながり・卒業生ネットワーク強化」をキーワードにしてまいりましたが、今期2年間はそれに加えより多くの会員の皆様に関わってもらえる会の運営にしていきたいと考えております。

- ・卒業生のデータベース構築事業
- ・ホームカミング・デーの継続的な実施
- ・情報発信の強化
- ・卒業生参加の推進

この4点をベースと考え継続的に行うだけではなく発展させるとともに、多くの皆様に駒木会および大学に関わっていただきたいと考えております。

具体的には、

- ・進んでいる江戸川大学をより知ってもらうように、情報発信を行うとともに、ホームカミング・デーでは大学側とシンポジウムなどを共催していく。
- ・会員同士がコミュニケーションをとれる事業をするとともに、より多くの方に駒木会を身近に感じてもらいかかわってもらう。

ということになります。

住民自治の仕事をしていることで、駒木会の役割の大きさを感じるとともに大学と卒業生の皆様の橋渡し役として努力していきたいと考えております。

最後になりますが、遠方に住んでいるものが会長となり、会員である卒業生の皆様や役員の皆様にはご迷惑をおかけすることもあるかとは思いますが、この2年間を集大成とし新たな会長にバトンタッチをしていきたいと考えておりますので、なにとぞよろしくお願いいたします。

会費納入のお願い

駒木会の運営は、皆様の会費によって支えられております。ご協力をお願いいたします。

会費納入につきましては永年/5ヶ年からお選びください。平成22年度入学者以降は学納金と同時徴収のため永年会費納入済みとなります。

なお、会費納入の有無にかかわらず払込取扱票を同封させていただいております。ご了承ください。

■永年会費：¥30,000(今後会費納入の必要は一切ございません)

■5ヶ年会費：¥5,000

※初回納入の場合、別途入会金¥1,000

また、寄付も受け付けております。

払込取扱票記入事項(ゆうちょ銀行)

■口座番号:00110-3-67407

■加入者名:江戸川大学駒木会

■金額:納入金の総額

■通信欄:納入金内訳(永年会費・5ヶ年会費・寄付金)

卒業生ご本人の現在のお名前と住所、在学当時の学籍番号
(会報送付封筒に記載しております)

■支払人住所氏名:会費をご納入された方のお名前と住所
お手数をおかけしますが、どうぞよろしくお願いいたします。

駒木会からのお知らせ

●卒業生在籍企業からのご提案の募集

駒木会では円滑に事業を進めるため、卒業生の皆様が在籍している企業等からの駒木会業務に関するご提案を募集しています。

詳細はWebサイトをご覧ください。

●同窓会情報やレポートを募集中!!

同窓会を開きたいけどメンバーと連絡が取れずお困りの幹事様。会報やWebサイトに掲載できますので、お気軽に駒木会事務局までお問い合わせください。

また、そのようなイベントがありましたら、ぜひ写真を添えてコメントをお寄せください。会報・Webサイト等で紹介させていただきます。

●駒木会の活動に参加してみませんか

交流パーティーに参加してみたいけど友達が来ない…そんな方はスタッフとして参加してみたいはいかがでしょうか。

今のスタッフにも駒木会の活動で知り合った仲間がたくさんいます。1日だけ、メールでやり取りするだけなど、様々な参加の方法があります。

駒木会事務局にご連絡いただくか、ホームカミング・デー当日に直接スタッフにお声がけください。

住所変更などの手続きはお忘れなく

次のような場合は同封のはがき又は、駒木会Webサイトの所定のフォームをご利用の上、下記連絡先へ変更手続きをお願いいたします。

- ・住所の変更(市町村合併を含む)
- ・会報が届かない
- ・結婚等で氏名が変わった

また、住所に変更が無いにもかかわらず会報が届かないという方は、登録情報を確認・修正させていただきますので、お問い合わせください。

訃報

●名誉教授 浦達也先生

マス・コミュニケーション学科にて教鞭をとられた、名誉教授の浦達也(うら・たつや)先生が平成28年4月、82歳で逝去されました。

駒木会執行部一同、謹んで哀悼の意を表します。



●編集後記

過ぎ去る年月は早いもので気づけばかつて通った大学の周辺や顔ぶれが変わり、年月の重みを感じました。

人は自分の通った道を振り返ることで環境の変化を認識し、心の寛容、周囲への感謝を思い起すことができます。なので、ホームカミング・デーを通じてそういった機会の一助となれば幸いと考えております。

最後に今会報の執筆に協力いただいた教職員、卒業生、在学生の方々に感謝申し上げるとともに今後のご活躍をお祈りしております。(UH)

●駒木会への連絡先

■メールアドレス komaki@edogawa-u.ac.jp

■郵便 〒270-0198

千葉県流山市駒木474

江戸川大学駒木会事務局

■電話 04-7152-0661(江戸川大学代表)

駒木会事務局 大中(おおなか)

住所変更フォームはWebサイトにごございます。

■Webサイト <http://komakikai.jp>